



因島空襲：青木忠・著
@1,000円
問い合わせ：青木企画
TEL：0845-22-7135まで

太平洋戦争末期の昭和二〇年七月二八日、軍需工場であった因島の旧日立造船因島工場が空襲を受けた。多くの死傷者が出てははずなのに、資料に残っているのはそのごく一部で、混乱や隠蔽などでその実態がつかめず、さらに当時のことを知る人々が高齢化で激減している。そうしたなか、その実態を明らかにし、犠牲者の追悼をしようとしている。青木さんは自身が被災者でもあつた因島空襲の実態を調査しているうち、隣の生名島、弓削島もこの空襲時、なんらかの影響を受けたに違いない、今は一連の調査区域を拡大し、この空襲の目的や実態、そして当時の島嶼部の有様を浮かび上がらせたいとしている。青木さんは「瀬戸内の太平洋戦争・因島空襲」を上梓した。

★争い事の仕掛けを見破ろう
青木さんの活動は、戦争に巻き込まれ非業の死を遂げた人々の魂を、集団から個につれもし、その死を忘ることを拒否する。事実を掘り起こし風化させない活動をすることで追悼、ことの是非を暴力で解決することの最大の愚は国と国の、あるいは国民同士の戦争であり、そのことをもつて肥え太る勢力もあることを、忘れてはいけない。心ならずもする戦争といふものは本来あるはずもなく、そこには水面下で暗躍する利権集団が必ずいることを国民は知つ

【お願い】
「弓削通信フェニックス」も、
空襲の見聞体験、またはご家族
に協力したいと願っています。
終戦間際の昭和二〇年、因島

から聞いたことをお持ちの方は、本誌までご連絡頂ければ幸甚です。また関連資料、あるいは情報、もしくはその存在をご存じの方もぜひ情報をお寄せください（編集者）

【お願い】
「弓削通信フェニックス」も、
空襲の見聞体験、またはご家族
に協力したいと願っています。
終戦間際の昭和二〇年、因島

フライデー
ナイトシアター



安藤朋生 茨城県

3時45分。これは紛れもなく深夜3時45分のこと。金曜日の晩はテレビにかかり付いていることが多い。月曜から金曜まで全速力で働き、やっと神経が緩む時間がこの時かもしれない。久しぶりにいい映画に会えた。

同性愛者の2人のママから産

まれた、2人の兄妹をめぐる家族の話である。姉19歳、弟18歳。多感な時期を迎えた2人と2人のママ。ママが2人いるという時点でややこしいようだが、ここでは最初に見たものをこれがママだ！

と刷り込むヒヨコと同じことらしい。どうやって育つかは環境なのだ。愛情たっぷりに育ってどう曲がるものか。そう思いつつシャワーを浴びることにし、もうこ

うなったら寝てやるものかとPCへも向かいこれを書いている。明日、もう今日のことだけでも一度の説法を聞く日である

眠気が。うつらうつら眠気の中考えるのは東京で1人暮らしをしている娘のこと。

映画の中の姉も大学進学のために親元を離れ、寮で暮らすこ

とになったことで2人のママの大切さを再認識する。私の娘はどうだろうか。電話をしたくなつたが、只今の時刻午前5時。娘への電話はもっと明るくなつてからにしよう。

新聞屋のバイクの音も遠くに聞こえ、空も白んできたようだ。益々眠気も増し、このまどろみが弓削の浜を歩く早朝だったらどんなにいいか。遠く浜のざざ波が静かに眠りを誘うのだった。

— 水 —

因島空襲報告会 ～生名と因島～



【写真説明】因島空襲時の説明をする青木さん（向かって左）
(下) 空襲のあった因島の造船所を佐島から臨む

★弓削通信九六号

実は関連した記事を平成一七年（2005年）八月一五日発行の「弓削通信」九六号に掲載した。そのときは弓削での聞き取り調査も少ししたが、當時体験を語つてくださった方も何名か鬼籍に入られたことを思えば、弓削島での再調査も待つたなしの状態にあるのかもしれない。

尾道駅前 ミネマ屋道

マリリン 7日間の恋

10月15日～10月26日

- ①11時45分～13時30分
- ②15時50分～17時45分
- 監督：サイモン・カーチス
- 出演：ミシェル・ウイリアムズ



●永遠のマリリンモンロー、秘められたロマンス。

問い合わせ：0848-24-8222

HP <http://www.cinema-onomichi.com/>



27

は も と 弓削島の浜都湾でよく見られる

オスプレイ めぐらを研究する

●電柱で休憩中のミサゴ。

●弓削野鳥の会

「弓削野鳥の会」が発足 15 年たった。その間にいろいろな出来事があり、また沢山の人との出逢い、別れもあつた。そうこうしているうちに月一回の観察会(基本的に毎月最終日曜日)に参加出来る人も減つて、今は文字通り細々という有様だ。

しかし、といふか最近、会の産みの親である T さんと久し振りに再会した。ささやかな懇親会の中で自然観察を生かした観察の話になった。

●ミサゴ研究所をつくろうや 島で日常茶飯に見られる猛禽類ミサゴは、実はその生態がよくわかつていないこと、ミサゴ

きどくち 二十九

青木喜代子

さんのかわいい猫には遠く及ばず、切り替えの早い私は、第二目標の骨壺に挑戦する事にした。逝くときは、あの西行さんと同じく桜の季節と決めている私は、桜の花びらを散らし、ふたのつまみは蓄をひとつ、とデザインは決まり、袋はタイカインの布があるので、これで縫う。ひもがない。ここまでこだわ

の研究は多くないこと、当会員の通年観察の結果、ある時期姿が激減するところから、他所へ繁殖に行っているか、もしくはこの島のどこで繁殖していること。可能性が高いと思われる。そこで、この島の野鳥の食物鎖の頂点に位置する絶滅危惧種ハヤブサも、通年石山と弓削大橋のタワーを往来しているところから、石山が繁殖地であるのが確実であること。それやこれ

が、遂には弓削島にミサゴの研究所をつくり、ミサゴのことが知りたければ弓削島へ行けと言われるようになれば楽しいなあ、と話しが弾んだ。 週一度の陶芸の時間も幸せのひとき。何も考えずに土を練り私にとつてのはつさくゼリーネの類は・・・。沢山あるけど、 研究所をつくり、ミサゴのことが知りたければ弓削島へ行けと言われるようになれば楽しいなあ、と話しが弾んだ。



は、住民自治力の現れであり、つているのにお菓子を包んだひもじやちょっととね。 夜、布団に入り、袋のデザインやひもの色をあれこれ考えていると、いつの間にか夢の中。 で、本体はといふと、実は先週もヨシコさんに手直しをしてもらひ、どうにか体をなしてい る状態、でも楽しいよ。自分の骨壺を作るなんてワクワクするみなさんもいかが?

●住民自治力を発揮しよう

町おこしもいろいろな形態があつた。我が町は明治期に篤志家である。我が町は明治期に篤志家

ふくられた。意気に感じ近隣の子供が資金を出し合つて寒村の子弟の育成にむけ、さらに高等

な学校作りに取り組んだ。その

つくりられた。意気に感じ近隣の子供が資金を出し合つて寒村の子弟の育成にむけ、さらに高等

な学校作りに取り組んだ。その

は、取り組み甲斐のあることだ。

甲斐あつて我が町は優秀な海員を多く輩出する。もとは地域の

子供が資金を出し合つて寒村の子弟の育成にむけ、さらに高等

な学校作りに取り組んだ。その

は、取り組み甲斐のあることだ。

甲斐あつて我が町は優秀な海員を多く輩出する。もとは地域の

子供が資金を出し合つて寒村の子弟の育成にむけ、さらに高等

な学校作りに取り組んだ。その

●空中停止(ホバリング)
して獲物をねらうミサゴ。
ミサゴと云う鳥をご存じだろうか。ほぼトビと同じくらいの大きさで猛禽類。翼を広げた長さは 150 センチから 180 センチ。海中に飛び込んで魚を捕らえて食べる。

近頃はいろいろ騒々しいのですでにご存じだろうが、ミサゴの英名はオスプレイ。沖縄配属でもめている垂直離着陸式飛行機。離着陸の際の姿が、まさか墜落のさまではないと思うが、ミサゴの空中停止(ホバリング)に似ているからだそうだ。ミサゴがトビと違うのは生きた魚が主食ということ。旋回しながらやにわに海に足から躍り込み、魚を掴んで飛び去る。一瞬墜落したのかと思わせるほどダイナミックだ。弓削島の浜都湾でよく見られる。

頭と腹部が真っ白。遠目にはトビと見まがうが、翼がカモモのよう細く、空中停止していふ時は尾が扇形に開いている。



●弓削島を特別な場所に 本格的な自然観察や鳥類研究は我々素人の技術を超えるのかかもしれないが、斯界の研究者を招請して研究を委嘱するとか、その成果でもつて、当面は空き家利用とかで展示館とか博物館は作れるだろう。環境教育、保全の必要性の根拠、この島の価値の特化、もしくは有名化につながる。専従者に給料が出来れば定住促進にもつながる。 そんな博物館は実際にある。

県内の一例では、久万高原町の面河山岳博物館。ここは石鎚山系と久万高原町の自然と人文を網羅する。地味だが大事な活動だと思う。

もちろん半年で出来る事ではない。が、たちまちは将来に向けての企画や運営の基礎データーは取得できる。ぜひ取り組みたい。うつづけの研究者も知っている。

即して有意義に結びつけること

<やよみ亭・映画研究会>

10月15日(月)夜7時から
どなたでも覗きにどうぞ 無料
「マンマミーア」

●抱腹絶倒の楽しいミュージカル!



は、住民自治力の現れであり、ついているのにお菓子を包んだひもじやちょっととね。 夜、布団に入り、袋のデザインやひもの色をあれこれ考えていると、いつの間にか夢の中。 で、本体はといふと、実は先週もヨシコさんに手直しをしてもらひ、どうにか体をなしてい る状態、でも楽しいよ。自分の骨壺を作るなんてワクワクするみなさんもいかが?

は、住民自治力の現れであり、ついているのにお菓子を包んだひもじやちょっととね。 夜、布団に入り、袋のデザイン

やひもの色をあれこれ考えて

いる。我が町は明治期に篤志家

ふくられた。意気に感じ近隣の

子供が資金を出し合つて寒村の子弟の育成にむけ、さらに高等

な学校作りに取り組んだ。その

は、取り組み甲斐のあることだ。

甲斐あつて我が町は優秀な海員を多く輩出する。もとは地域の

子供が資金を出し合つて寒村の子弟の育成にむけ、さらに高等

な学校作りに取り組んだ。その